

↓ リアルストアへ

ネットストアへ →

イベント  
EVENT

ファッション  
FASHION

フーズ  
FOODS

フロアガイド  
FLOORGUIDE

ブランド検索  
BRAND SEARCH

ネット会員  
NETMEMBER



はじめまして。  
「博多商会」と  
申します。

福岡・博多に残る伝統技術や、  
伝統工芸などの職人技をお持ちの  
職人さん達と、若手女性デザイナー  
2人がコラボレーション。新しい伝統の  
形を博多商会目線で提案する集団です。  
このコーナーでは、そんな中で私たちが  
出会った職人技をご紹介します。



**池田麻衣子**  
1979年福岡生まれ。  
福岡育ち。グラフィックデ  
ザインを中心に、サイン看  
板のデザイン設計も行う。  
博多にてデザイン事務所  
「mei」を主宰。



**林舞**  
1983年北九州市生  
博多区在住。グラフィック  
デザイナー。パンが好き、  
活版（カッパン）に興味を  
もったのがきっかけ。  
ぱんとたまねぎ主宰

バックナンバー

「活版印刷」▶  
印刷会社・文林堂 山田善之さん

## 博多商会が見つけた 博多のあれやこれ。

今回ご紹介するのは…

### 「工業彫刻」 kougyo choukoku

老舗のはんこ屋さん。  
その工場の奥には、貴重な  
技術を持つ職人さんがいました。

明治38年創業。天神の街に100年以上前からお店をか  
まえる「小金丸彫刻工業」さん。福岡市赤坂には、職人さ  
ん達が日々お仕事に励む工場があります。

昔ながらの“はんこ屋さん”ではありますが、工場に一歩  
足を踏みいれると、まるで昭和にタイムスリップしたよう！  
工場内では、60年前に導入されたという、当時ではと  
ても珍しい外国製の彫刻機が並んでいました。その傍ら、最  
新のレーザー彫刻機も備えるという、古いけど新しい工場  
です。

その中でも彫刻機を右腕のように使い続けている職人さ  
んが、笑顔の素敵なか中島伸昌さん。この道50年の中島さ  
んに、お仕事の様子を見せていただきました。



#### 注目した職人さん

小金丸彫刻工業 中島伸昌さん  
1943年、長崎県生まれ



中島さんの手でしかできない彫刻。  
さてさて、どんなものなのでしょう？

ここでいう「彫刻」は、箕などを使うような美術造形  
的なものではなく「工業彫刻」というものです。

中島さんが使っている彫刻機では、アクリル板、金属、  
プラスチックなど様々な製品に文字や図柄を施すこと  
ができ、普段私たちが街角でみかけるサイン（マーク  
や会社のプレートなど）を制作しています。現在では、  
工業彫刻の世界にもパソコンが導入されて、自動的  
に彫れる機械も増えてきたそうですが、職人さんたち  
は、長年培ってきた感覚を頼りに立体面や曲面、この  
昔ながらの機械でしか出来ない「手作業による彫刻」  
をやっているらしいです。

けやき通りから少し入っ  
た赤坂の住宅街。現在の  
の佇まいを写真でパチ  
リ。目印は、工場の前に  
掲げられた赤色の会社  
案内です！



50年間仕事を共にしてきた彫刻機を、まるで身体の一部のように使いこなす中島さん。機械と一心同体なんですね。



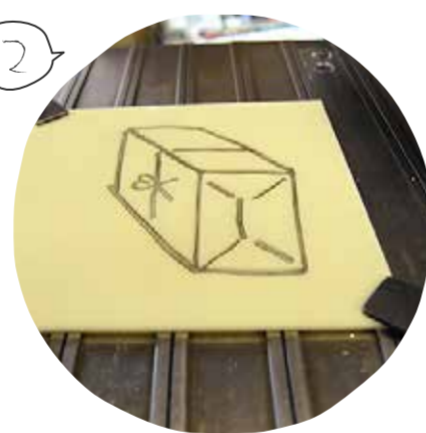
#### 工業彫刻の工程のぞかんね

①



1. レーザー彫刻にしたいイラストを描く。

②



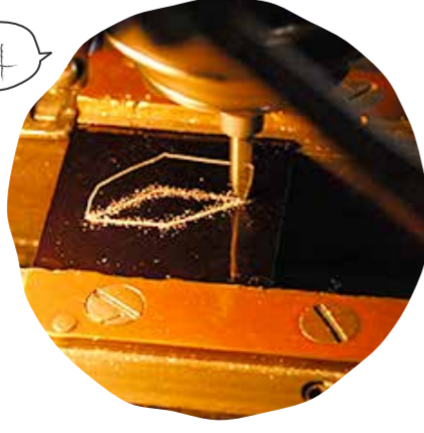
2. イラストをもとに版下を作成、原版をつくる。  
(仕上がりの5～10倍の大きさです)

③



3. 彫りやすいよう切削油をかけて、大体の輪郭を彫る。

④



4. 彫刻機で丁寧に彫ります。

⑤



5. 職人さんが微調整をしつつ彫りあげて完成。



完成！

すべて手探りの作業で職人さんの「腕」が光る仕事技。  
素材ごとに雰囲気が変わってとても面白いですね。  
中島さん、ありがとうございます！

小金丸彫刻工業(株)  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂3丁目1番5号  
tel:092-731-1367

#### 博多商会とは？



福岡・博多に残る伝統技術や、  
伝統工芸などの職人技をお持ちの職人さん達と、若手女性デ  
ザイナー2人がコラボレーシ  
ョン。新しい伝統の形を博多商  
会目線で提案する集団です。

ホームページ

<http://hakatashokai.com/>